

平成22年2月

下関港長府地区3号岸壁供用に伴う大型船入出港に係る 船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、下関港長府地区3号岸壁への3万DWT級船舶の潮汐利用による暫定的な受け入れ計画に基づき、同船舶の入出港及び係留の安全性等を調査検討し、必要な安全対策をとりまとめた。

主な検討内容は、潮汐利用による航路航行時の他船との行会い調整、航路内の浅所に対する安全対策、水先人の乗船、岸壁の防舷材に対応した許容接岸速度、OCIMFの計算手法による係留可能条件、望ましい係船索配置の推奨案、及び調査対象船舶の入出港に係る安全管理体制の構築等から、調査対象船舶の暫定的受入れにあたり、港湾管理者には、本報告書及び審議の過程における議論の趣旨を十分尊重すること、加えて関係施設の早期整備を要望した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 暫定供用計画
- (3) 受け入れ施設及び対象船舶
- (4) 下関港長府地区及び周辺海域の現況
- (5) 暫定供用中の安全性の検討
- (6) 暫定供用中に係る船舶航行安全対策